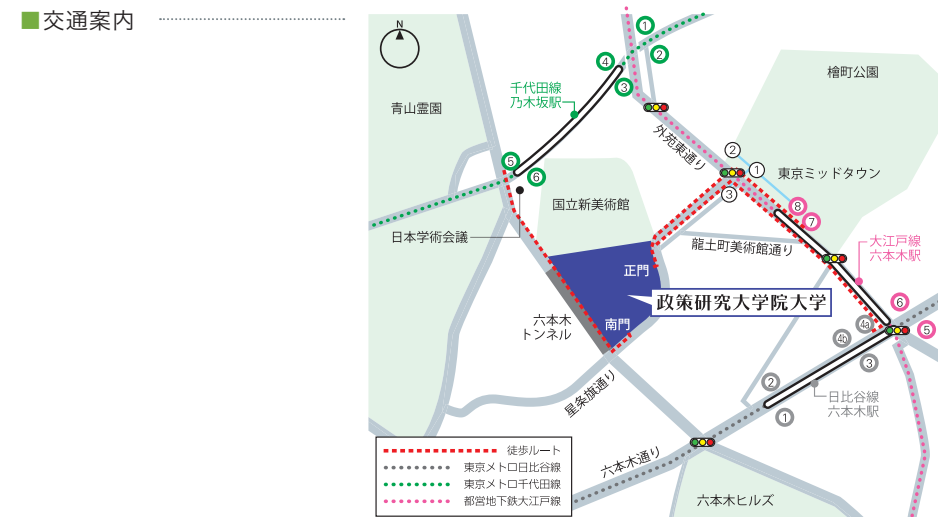


農業政策短期特別研修

- 研修実施期間 2019年7月22日(月)～8月8日(木)
- 研修場所 原則として、政策研究大学院大学(東京都港区六本木7-22-1)において行います。
- 研修の対象者 農業政策の企画・立案、執行を担う都道府県又は市町村の職員を対象とします。
現職が農業関連部門であるかどうかは問いません。
積極的な学習意欲と高い企画・立案能力を有し、将来当該自治体の農業政策を担うことが期待できる者であれば、年齢・役職は問いません。
なお、本研修の主たる対象者は自治体職員ですが、農業関係団体等の職員やシンクタンクの職員も受講可能です。
- 定員 24名(予定)
- 受講費用 100,000円(税込)(予定)
なお、宿泊される場合の宿泊費、大学や現地調査場所までの交通費は別途必要です。
- 出願期間 2019年3月18日(月)～5月10日(金)
選考結果通知 2019年5月31日(金)頃
- 出願方法 所定の申請書類のほかに、所属機関の長の推薦状等が必要です。
出願資格や必要書類等については、募集要項をご覧ください。
- お問い合わせ先 政策研究大学院大学 農業政策コース
コースディレクター・教授: 株田 文博
[住所] 〒106-8677 東京都港区六本木7-22-1
[Eメール] nougyou-seisaku@grips.ac.jp
[電話] 03-6439-6290(直通) [FAX] 03-6439-6040
[HPアドレス] <http://www3.grips.ac.jp/~agriculturalpolicy/>



2019 TRAINING 政策研究大学院大学 農業政策 短期特別研修

農業政策短期特別研修の実施について

1 研修の趣旨・目的

地域独自の「攻めの農業政策」を企画・立案する人材を育てる

国立大学法人政策研究大学院大学 (GRIPS) では、政策に関する専門的知識及び技術に加え、高度な政策構想力と行政運営能力を有する人材の養成を行っています。この一環として、農業を核とする地域経済活性化のための政策(以下「農業政策」)の企画・立案、執行を担う人材を養成する短期特別研修を実施しております。この研修は、農林水産物やその加工品の高付加価値化、販路の拡大、グリーンツーリズムの展開などを支援する、地域独自の「攻めの農業政策」の企画・立案、執行を担う実践力をスピーディに身につけていただくことを狙いとしています。

このため、夏季の3週間という短期間に、地域の活力向上のため喫緊の課題となっているテーマについて、集中的に講義、現地調査、グループ討議等を行うプログラムを提供します。研修の講師は、農業政策やフードシステム論を専門とする大学教授・研究者や第一線で活躍の農業、食品産業関係者のほか、中央官庁の職員が務めます。また、本研修では、研修修了後も情報交換等を行えるよう、研修生のネットワーク形成にも努めます。

2 研修の特徴

魅力的な政策の企画・立案力、遂行力を磨くために



1 政策研究・立案のプロフェッショナルによる実践的な講義

2 フードビジネスに携わる各界トップランナーとの交流

3 マーケット最前線の現地調査実施(販売、流通、製造)

4 全国自治体の将来の農業政策を担う職員との意見交換



3 研修の進め方

受講される方は、まず研修開始前に、それぞれの地域の「攻めの農業政策」に関する研究テーマを、個別に選んでいただきます。研修では、選ばれたテーマに関する政策提案を取りまとめることを念頭に置きながら、講義・現地調査・グループ討議等のプログラムに参加していただきます。研修日程の最後には、ご自分が選ばれたテーマに関する政策提案を発表していただく予定です。

農業政策短期特別研修 時間割

■ 現地調査：食品の販売、流通、製造の現地調査を通じ、政策のターゲットを検討

①マーケット最前線から、到達目標のレベルを考える

■ テーマ別の集中演習：一日一つのテーマについて集中的に学習・討議

①政策担当者から関連政策についての講義

②民間事業者等からビジネスの最前線についての講義

③講義を踏まえたグループ討議を行う政策検討ワークショップを一貫して行う、総合的なプログラムを実施

【2018年度の時間割】 ※2019年度は、2018年度の時間割を元に編成する予定です。決定次第ホームページに掲載します。

日付	1限(9:00-10:30)	2限(10:40-12:10)	3限(13:20-14:50)	4限(15:00-16:30)	5限(16:40-18:10)				
1週目	7/23		ガイダンス			自己紹介／個別テーマ発表			
	24	「農」をどう捉えるか	農業政策の企画立案に際しての基本スタンス①		ファシリテーション				
	25	フードシステム論		農業政策の企画立案に際しての基本スタンス②		技術で切り拓く新たな農業	今後の農林水産行政の展開方向		
	26	都市と農村の共生の新たな潮流	農業生産工程管理(GAP)の推進	農林水産物・食品の輸出促進		農業と福祉の連携：農にとっての意義	フードシステムにおける協働		
	27	地域食品のビジネスチャンス	地域活性化に求められる公務員像	現地調査 食品加工・直販センター					
	28	地域独自の政策企画に向けて	第1週のふり振り返りグループ討議	修了生報告会(食と農を通じた地域振興研究会)			テーマ別グループ討議 ¹⁾		
2週目	30		マーケティング論(10:00～12:00)		小さくて強い農業論		企業の農業参入の取組		地域農業のための継承戦略
	31	6次産業化に関する施策		6次産業化の取組		6次産業化に関するグループ討議			高感度層への食・食文化の発信
	8/1	担い手育成・確保に関する施策		大規模稲作農業法人の取組		担い手育成に関するグループ討議			
	2	地域の営農戦略に関する施策		販路拡大と所得向上を実現する産地戦略		地域の営農戦略に関するグループ討議			
	3	都市と農村の交流に関する施策		都市と農村の交流の取組		都市と農村の交流に関するグループ討議			
	4			中間報告					
3週目	6	都市農業に関する施策		都市農業の取組		都市農業に関するグループ討議			
	7	研究のブラッシュアップ、補強調査日 ²⁾							
	8	政策提案の発表							
	9	グループ討議 ³⁾			グループ討議 ³⁾		修了式		

¹⁾個別テーマごとのグループで意見交換

²⁾追加ヒアリングや個別相談を実施

³⁾政策提案についてグループで意見交換